

芦屋町 下水道事業経営戦略

目次

- 第1章 下水道事業経営戦略策定の背景
- 第2章 下水道事業の現状と課題
- 第3章 経営戦略の基本方針
- 第4章 投資・財政計画
- 第5章 計画の点検と進捗管理

1

第1章 下水道事業経営戦略策定の背景 1 経営戦略策定の趣旨

趣旨

芦屋町公共下水道事業は、施設の整備が概成しています。

一方で、人口減少や節水機器普及など水需要の減少に伴う収入減が続くなか、施設や管路の健全性を維持していくためには、経営基盤強化のための取組みをより一層推進するとともに、**収支均衡させた「投資・財政計画」**を策定し、長期的に持続可能な事業経営に取り組んでいくことが重要です。

このため、**中長期的な経営の基本計画である「経営戦略」**を策定するものです。

計画期間

平成29年度～平成38年度

10年間

2

第2章 下水道事業の現状と課題

1 下水道施設の概要

管 渠

管渠延長：約97km（平成27年度末）

処理場・ポンプ場

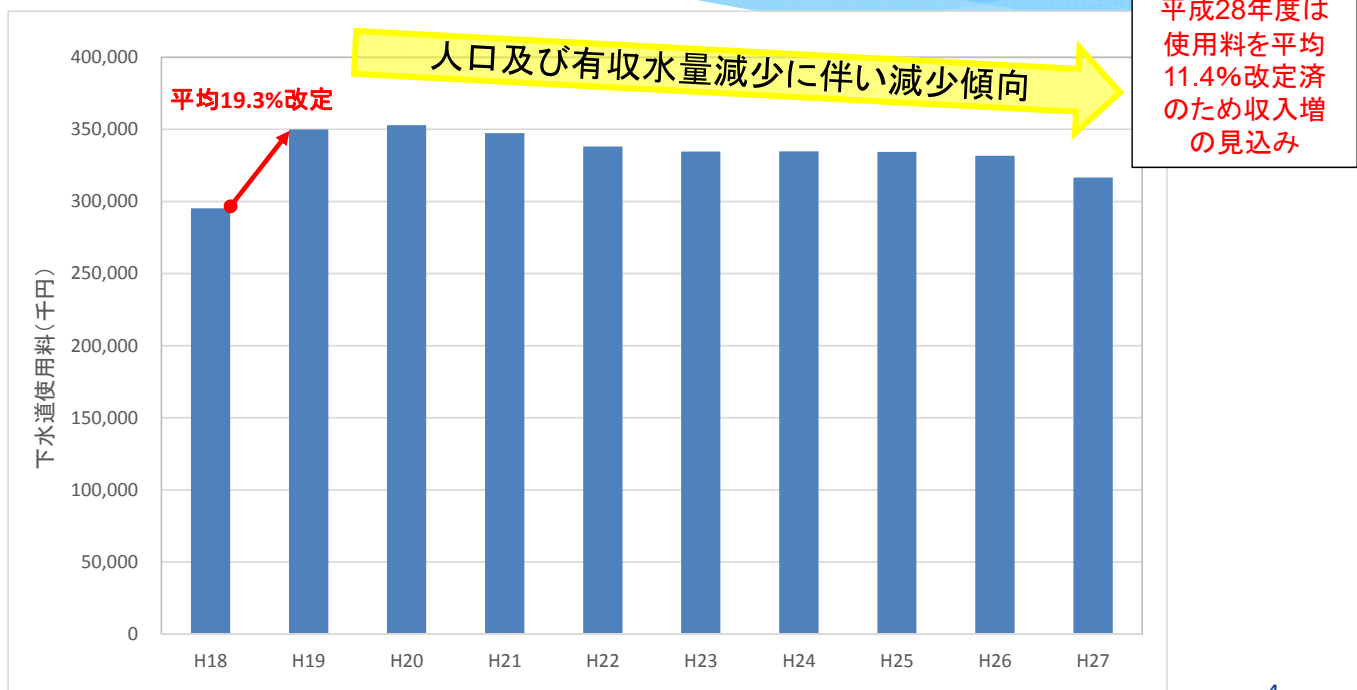
施設名	運転開始年月	処理能力（日最大） ポンプ能力（時間最大）
芦屋町浄化センター	昭和57年3月	9,840m ³ /日
中ノ浜污水中継ポンプ場	昭和57年3月	11.10m ³ /分×2台
汐入污水中継ポンプ場	平成4年4月	3.15m ³ /分×2台
西浜町污水中継ポンプ場	昭和61年4月	0.21m ³ /分×2台
祇園町污水中継ポンプ場	平成元年3月	0.13m ³ /分×2台
月軒污水中継ポンプ場	昭和57年3月	1.70m ³ /分×3台
下ノ辻污水中継ポンプ場	昭和60年3月	0.04m ³ /分×2台
栗屋污水中継ポンプ場	平成元年3月	0.04m ³ /分×2台

3

第2章 下水道事業の現状と課題

2 経営の状況

下水道使用料収入の推移

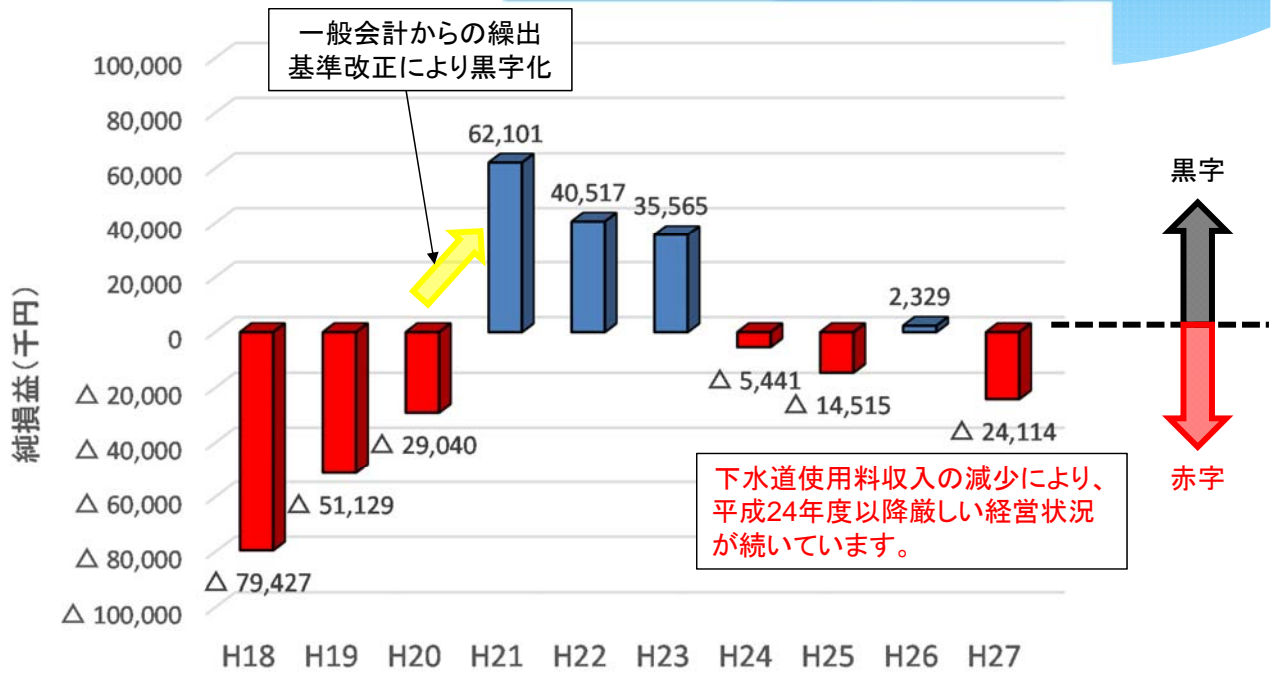


4

第2章 下水道事業の現状と課題

3 経営の状況

純損益の推移



5

第3章 経営戦略の基本方針

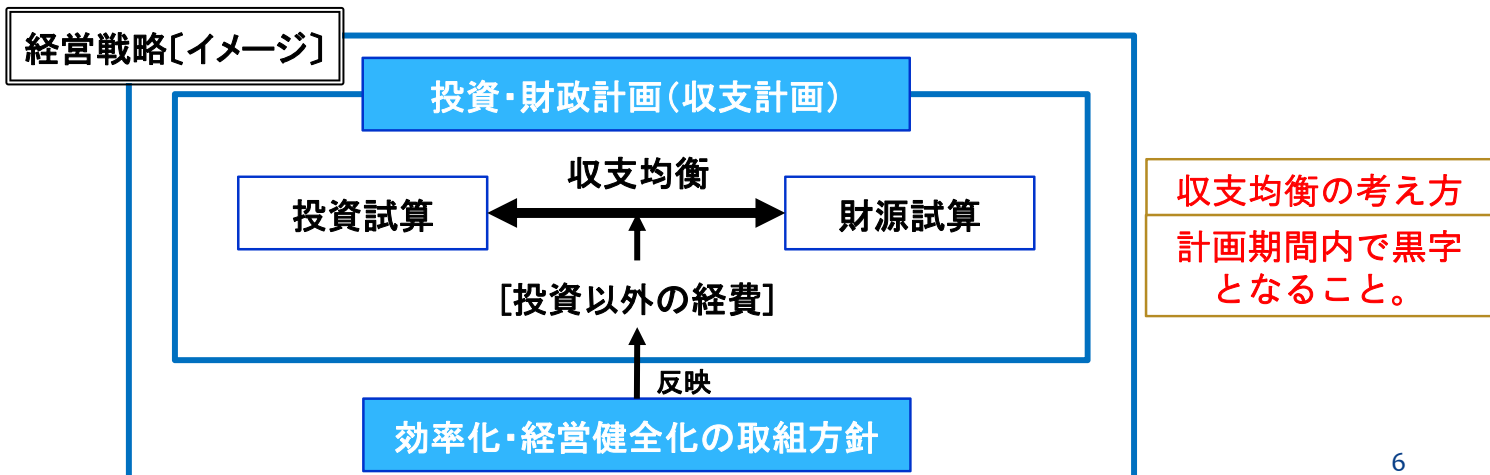
1 経営戦略の基本方針

基本方針

持続可能な下水道事業の実現へ向け、中長期的な経営の基本計画である経営戦略を策定し、全ての町民が安心して暮らせるよう

「快適で安全な下水道サービスを、持続的・安定的に提供する」

ことを基本方針とします。



6

第4章 投資・財政計画

1 投資計画

改築更新事業

各施設（処理場、ポンプ場、管渠）の長寿命化計画に基づき、改築・更新を実施いたします。また、平成32年度以降はストックマネジメント計画に基づき事業を実施する予定です。

計画名	策定年度	計画期間
芦屋町下水道長寿命化計画(芦屋町浄化センター他)	平成26年度	平成27～31年度
芦屋町下水道長寿命化計画(汐入ポンプ場他)	平成26年度	平成27～32年度
芦屋町下水道長寿命化計画(芦屋処理区:第1期[管渠])	平成27年度	平成28～34年度

耐震対策事業

各施設の優先度を設定し、特に維持管理等に係る人員が常駐・巡回する施設（建築構造物）を優先し、順次耐震対策を実施する予定です。

7

第4章 投資・財政計画

1 投資計画

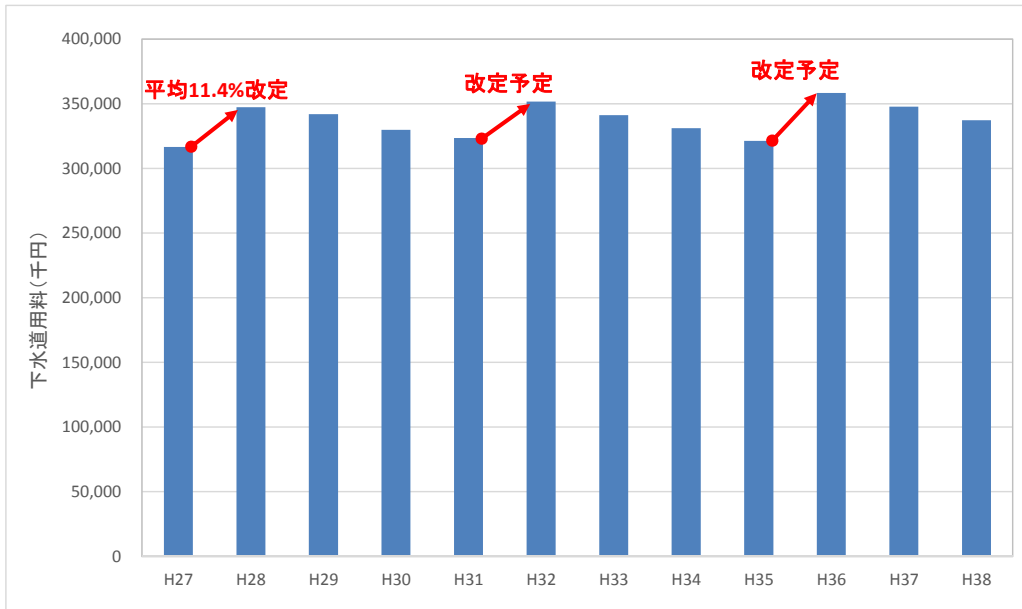
今後の投資額の見込み

項目	10年間の投資額 (平成29～38年度)
改築更新事業	3,886百万円
耐震対策事業	76百万円
その他	54百万円
合計	4,016百万円

8

第4章 投資・財政計画 2 財源確保

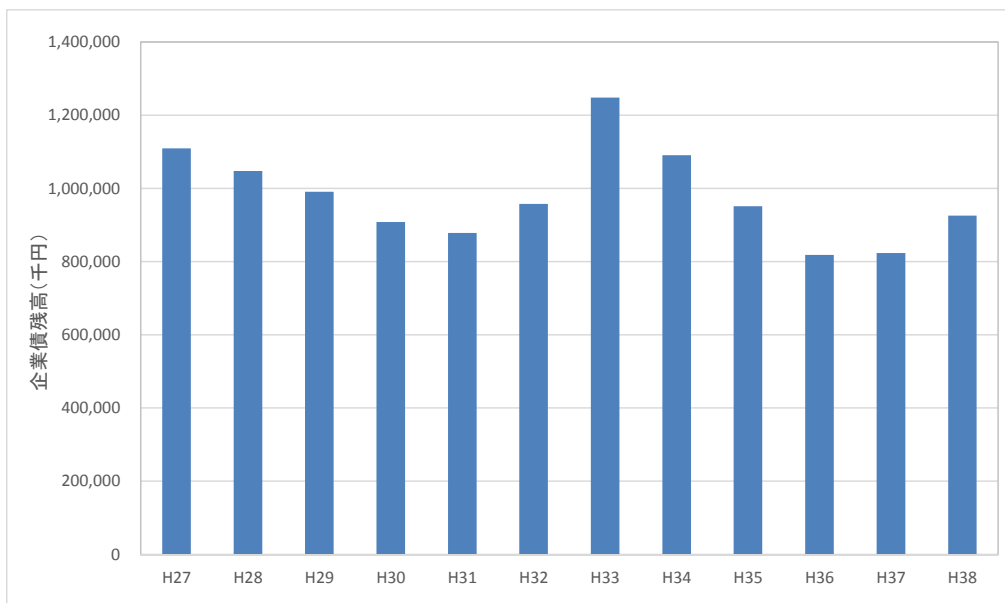
下水道使用料収入の見込み



今後の使用料収入は減少が見込まれます。計画期間内の収支均衡（黒字化）を図るため、「芦屋町集中改革プラン」に示しているとおり、4年毎に使用料改定を検討します。

第4章 投資・財政計画 2 財源確保

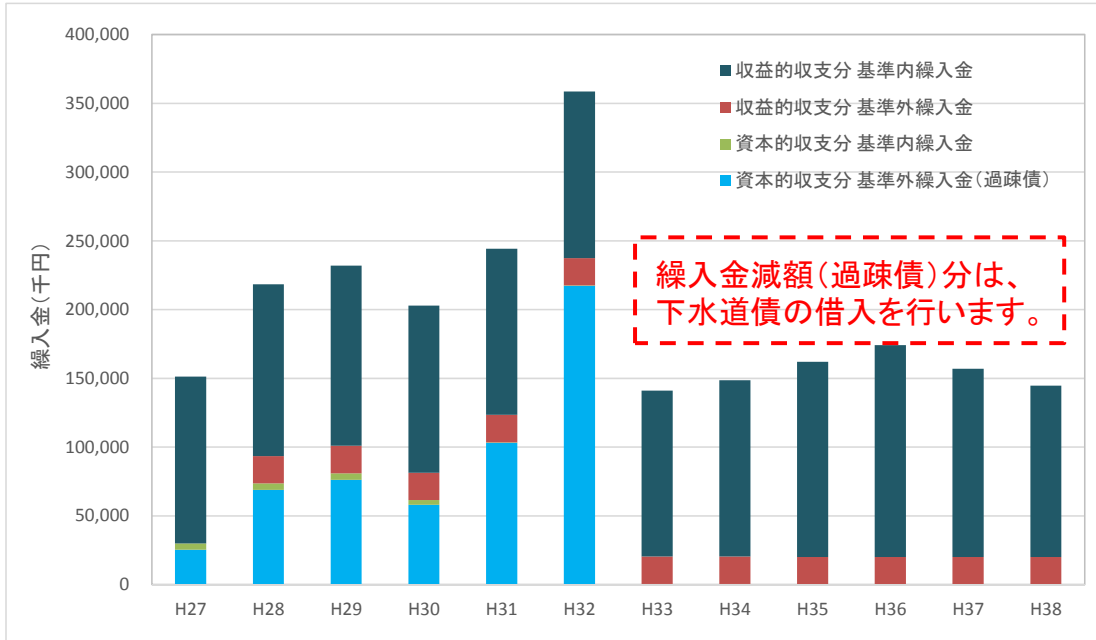
企業債残高の見込み



平成27年度末の企業債残高は、約11億円となっています。今後は、投資額の平準化を図り、10年後には、現時点より残高を減少させるように努めます。

第4章 投資・財政計画 2 財源確保

一般会計からの繰入金の見込み

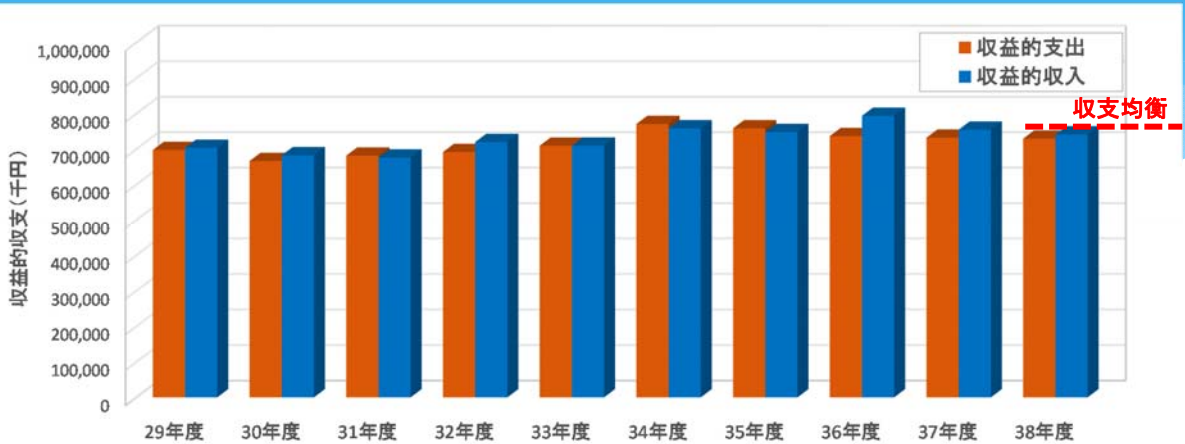


平成27年度末の一般会計からの繰入金は、約1億5千万円となっています。今後は、独立採算制の基本原則に基づく経営に努めます。

第4章 投資・財政計画 3 投資・財政計画

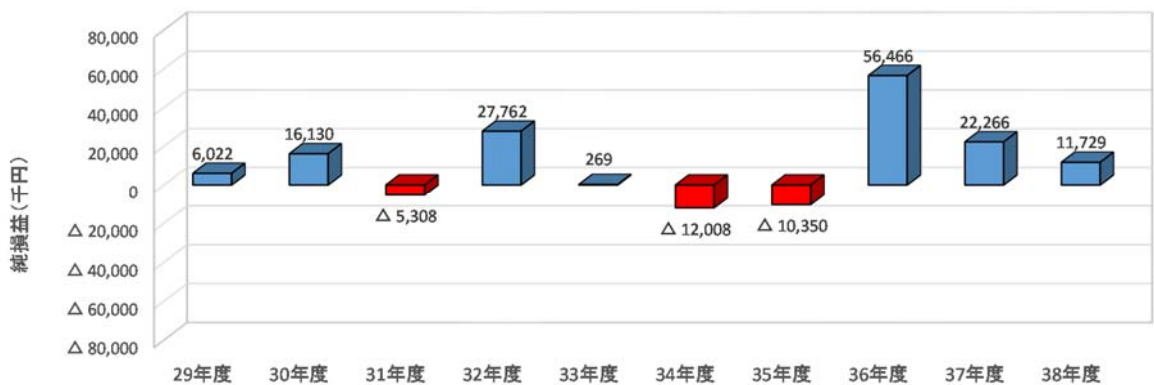
収益的 収 支

(公共下水道事業)



純損益

(公共下水道事業)

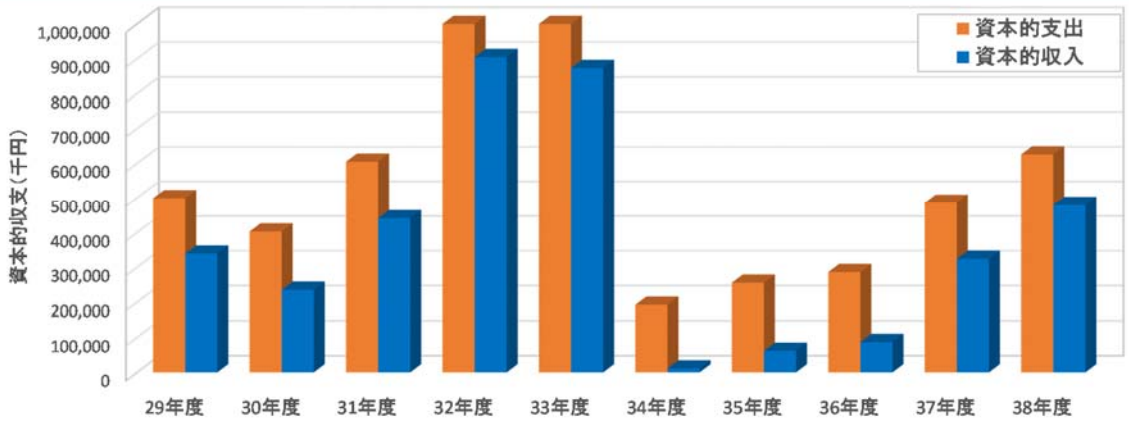


第4章 投資・財政計画

4 投資・財政計画

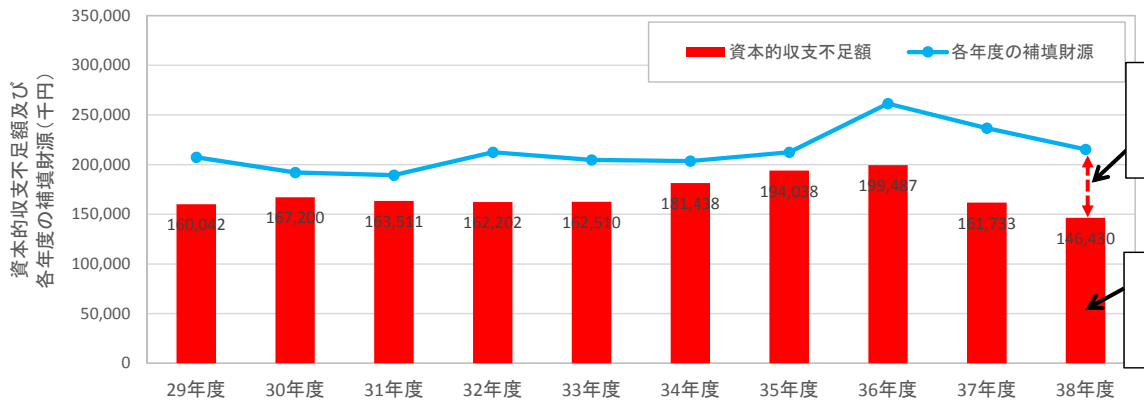
資本的収支

(公共下水道事業)



資本的収支不足額

(公共下水道事業)



差額は翌年度以降に使用します

不足額は補填財源を使用します

第5章 計画の点検と進捗管理

1 今後検討予定の取組み

課題

施設老朽化

- 修繕費等維持管理費の増加
- 大規模改修や建替えが10年後以降に集中

人口減少

- 有収水量減少による汚水処理原価の増加

使用者負担増

- 下水道使用料値上げによる使用者負担の増加

検討予定の取組み

課題解決

ストックマネジメント
計画策定

投資の平準化

施設の処理方式
変更・ダウンサイジング

北九州市との
広域連携